

会員各位

2009年8月7日  
日本化粧品技術者会  
東京支部

## SCCJ東京支部 第25回・第26回「研究会」のご案内

本研究会は若手化粧品技術者を対象に、化粧品のモノ作りに関わるテーマを取り上げ、参加者と講師及び参加者同志で、お互いの意見交換・討論を通して技術向上と技術者間の交流を図っております。

化粧品技術者としての基本技術を身につけるべく、昨年のテーマ『基本に返って乳化技術を学ぶ』に引き続き、今年度はメインテーマを『分散技術の基本を学ぶ』として、主にメーキャップ化粧品製造技術の基礎について学んでいきたいと思います。

今年度は第25回・第26回について同時にご案内・募集し、興味のある分野の回に応募頂きます。昨年の「研究会」募集の状況から、多数の応募申込が予想されますが、本会の趣旨をご理解頂き、参加者自身が意見交換・討論に参画いただけるよう、応募の際には必ず「意見交換したい内容」について記載頂きますようお願い致します。

本研究会は35歳未満の若手・中堅の方を対象にしており、あらかじめご了承下さい(正会員の方は是非、若手の代理者を参加させて頂きますようご案内申し上げます)

### 記

1. 日時 : 第25回; 9月29日(火) 13:30~17:35  
第26回; 11月25日(水) 13:30~17:35  
\*いずれも受付開始 13:00~
2. 場所 : 化成品会館3F会議室(港区六本木) 会場略図参照
3. プログラム メインテーマ: “分散技術の基本を学ぶ”  
<プログラム>

	テーマ	講師(敬称略)	時間
第25回 (9/29)	開会の挨拶とガイダンス	学術部会B委員	13:30~13:35
	分散の基礎技術・理論	中林 治郎 (コーワー)	13:35~14:35
	分散技術の応用①(パウダリーFD)	西村 博睦 (ボーラ)	14:35~15:20
	分散技術の応用②(乳化FD)	青島 正佳 (花王)	15:20~16:05
	グループ討論		16:20~17:35
第26回 (11/25)	開会の挨拶とガイダンス	学術部会B委員	13:30~13:35
	分散の基礎技術・理論	中林 治郎 (コーワー)	13:35~14:35
	分散技術の応用③(ローリー)	半山 敦士 (カネボウ)	14:35~15:20
	分散技術の応用④(マスカラ)	井手 信之 (資生堂)	15:20~16:05
	グループ討論		16:20~17:35

\*グループ討論終了後、同会場にて交流会を行います(17:40~18:40)

(研究会の一環としての交流の場ですので、併せてご予定下さい)

<各テーマの講演概要>

	テーマ(仮) 講師(敬称略)	講演概要
第25回 (9/29)	分散の基礎技術・理論 中林治郎(コーネル)	<p>顔料を用いる化粧品分野(主にメイクアップ製品)において、顔料分散は、非常に重要な技術です。</p> <p>顔料分散は、顔料を微細、均一に分散し、それを安定に保つ技術ですが、化粧品の場合、製剤が人間の皮膚に塗布されて機能が発揮されるため、化粧の仕上がり、使用感、化粧持ちなどを合わせて考慮しなければなりません。</p> <p>そこで、化粧品製剤化における顔料分散の基礎として、以下の内容でわかりやすくお話しします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① いろいろな顔料と用途 分類・形状と表面積・有機顔料</li> <li>② ぬれ、解碎、安定化 <ul style="list-style-type: none"> <li>②-1 ぬれ 表面張力</li> <li>②-2 解碎 顔料凝集体 分散(衝突力とせん断力)</li> <li>②-3 安定化 電気的反発 吸着層の立体障害 水性分散体の特徴</li> </ul> </li> <li>③ 分散機器の種類</li> <li>④ 分散性向上技術 分散剤 樹脂吸着(酸と塩基) 顔料表面改質</li> <li>⑤ 研究事例</li> </ul>
	分散技術の応用① (パウダリーファンデーション) 西村博睦(ポーラ)	本講演では、パウダリーファンデーションを研究開発するにあたり、必要とされる基本的な知識と技術を説明する。その中でも特に、製品の品質(仕上り、感触、紫外線カット効果)を向上させるための分散技術の応用例を中心に紹介する。
	分散技術の応用② (乳化FD) 青島正佳(花王)	着色顔料の分散は製剤の発色性、隠ぺい性や安定性、使用感などに大きく影響を及ぼす。 本講演では主に液状乳化ファンデーションにおける着色顔料の分散制御技術と粉体を応用した製剤化技術について紹介する。
第26回 (11/25)	分散の基礎技術・理論 中林治郎(コーネル)	第25回(9/29)と同内容
	分散技術の応用③ (口紅) 半山敦士(カネボウ)	口紅の基本的な製剤化技術の解説を中心に、色材の分散に適した油剤や表面処理技術について文献などを基に紹介を行う。また、実際の製品の開発事例なども交え、油性製剤での分散について紹介を行う。
	分散技術の応用④ (マスカラ・他) 井手信之(資生堂)	分散技術が応用されている例としてポイントメイクアップ製品の中でマスカラを中心に取り上げ、モノ作りを行う製品開発者の視点から、マスカラ開発における基本的な技術や配慮する点など分かりやすく説明する。

#### 4. 申込方法とお願い

1) 別紙の「参加申込書」にて、事務局までFAXしてください。

2) 申込者対象

- ・商品開発・研究・製造など実務に携わっている35歳未満の会員が対象です。
- ・準会員の方は、ご本人は参加できますが、代理者はたてられません。
- ・正会員の方で35歳未満の方は参加可能です、また代理者も可能です。
- ・35歳以上の正会員の方は代理の方の参加が可能です。

3) 募集人員:第25回・第26回とも各50名

4) 参加費:3,000円 (当日徴収、領収書発行)

5) 申込締切日:9月15日(火)

ただし、定員になり次第締切り(先着申込順)とさせていただきますので、お早めに申込下さい。参加証は9月15日(火)迄に、折り返しFAXにてご連絡いたします。

\*定員になった場合はホームページ上でお知らせします、申込の際はご確認下さい。

ホームページ: <http://www.sccj-ifscce.com/>

- ・申込は第25回・第26回のいずれかを選択下さい(重複の申込はできません)

申込の際は、「研究会」の趣旨をご理解頂き、必ず「当日意見交換したい内容」について記載下さい (記載がない場合は、原則として参加をお断りさせて頂きます)

- ・お申込後に、ご都合が悪くなった場合は、早めに事務局までご連絡下さい。

「お問合せ先」 〒106-0032 東京都港区六本木5-18-17 化成品会館4F

日本化粧品技術者会東京支部 事務局

TEL:03-3586-0775 FAX:03-3586-0833

E-mail:[toukagi@jade.dti.ne.jp](mailto:toukagi@jade.dti.ne.jp)

以上

《会場略図》(化成品会館3F 会議室) 会場は東京支部事務局の入居している会館です。



日本化粧品技術者会東京支部 事務局 行  
(FAX:03-3586-0833)

## 第25回「研究会」(9/29) 第26回「研究会」(11/25) 参加申込書

\* (第25回・第26回のいずれかを○で囲んで下さい)

参加者 氏名	該当に○ : 正会員 準会員 代理参加
	参加者氏名
	代理参加の場合、どなたの代理か正会員の氏名を記載下さい
	正会員名( )
会社名	
所属部門	
連絡先	TEL: FAX:

◇ グループ討論:ご希望のテーマを選び、番号を○で囲んでください。

	第25回「研究会」の場合		第26回「研究会」の場合
1	分散の基礎技術・理論	1	分散の基礎技術・理論
2	応用①(パウダリーFD)	2	応用③(口紅)
3	応用②(乳化FD)	3	応用④(マスカラ)

※ ただし、各グループ人数調整のため、ご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

◇ 講師＆参加者交流会(17:40～18:40)への参加の有無 (○で囲む)

参加	不参加
----	-----

■《当日意見交換したい内容(日頃疑問に思っていることなど)を必ず下記に記載してください  
(400字程度)別紙添付も可》

【「研究会」当日この参加証を持参下さい】 (事務局記載)

### 第25回(9/29)又は第26回(11/25)「研究会」『参加証』

No.

※受付開始時間: 13:00～ ※参加費3,000円(当日徴収、領収書発行)